



理科教育の貢献者。植物研究者。野間郡波方村(現、今治市)出身。小学校の代用教員を務めながら愛媛県師範学校(現、愛媛大学)の受験勉強に励み、明治43(1910)年、17歳にして師範学校の学生となった。師範学校学生時代は、特に願い出て植物学の教えを受け、卒業後は、その研究のため山間部の学校への赴任を希望し、上浮穴郡の小学校に勤めた。教師として熱心に授業に取り組み、とりわけ理科の授業に意欲的で、野外での実験、実習を取り入れた授業は評判を呼んだ。大正8(1919)年、26歳の若さで柳谷第二尋常高等小学校(現、久万高原町立柳谷小学校)校長に就任。以降、余土代用附属小学校(現、松山市立余土小学校)、愛媛県師範学校、愛媛県松山中学校(現、県立松山東高等学校)などに勤務し、本県の多くの優秀な理科教員を養成するとともに愛媛県理科教育研究会会長として本県小・中

学校理科教育の発展に功績をあげた。

第二次世界大戦後も愛媛県下の文化、教育の発展に力を尽くし、文化財保護委員を長く務め、昭和31(1956)年からは愛媛県立博物館(平成21年3月県総合科学博物館と統合)の設立とその発展に力を注いだ。また、植物研究でも植物分類に関する研究成果を多く発表し、主な著書として豊後水道産海藻類を研究した『伊予の海藻目録』や『愛媛の植物』等がある。自ら命名した「オキチモズク」、「ツバキカンザクラ」など新発見の植物も多く、「オキチモズク」は国の天然記念物に指定された。

略歴

明治26(1893)年1月15日	野間郡波方村に生まれる。
明治41(1908)年	波方尋常高等小学校(現、今治市立波方小学校)卒業 岩城尋常小学校(現、上島町立岩城小学校)の代用教員として勤務
明治43(1910)年	愛媛県師範学校入学
大正3(1914)年	愛媛県師範学校卒業
大正8(1919)年	上浮穴郡久万尋常高等小学校(現、久万高原町立久万小学校)勤務
大正9(1920)年	柳谷第二尋常高等小学校校長就任
大正11(1922)年	余土代用附属小学校教諭
昭和5(1930)年	愛媛県師範学校教諭
昭和13(1938)年	牧野富太郎博士を愛媛に招いて植物採集会開催
昭和19(1944)年6月26日	「オキチモズク」の研究開始
昭和22(1947)年	「オキチモズク」が国の天然記念物に指定
昭和25(1950)年	温泉郡余戸村立余土中学校(現、松山市立余土中学校)校長就任
昭和31(1956)年	昭和天皇の松山市沖の興居島での植物採集をご案内
昭和34(1959)年	愛媛県立博物館設立のための準備開始
昭和38(1963)年	自然科学教室開始
昭和55(1980)年6月9日	「ツバキカンザクラ」を『伊予の桜図譜』で紹介 87歳で永眠

(写真提供：八木方子氏)

〈関連図書〉

- ・愛媛子どものための伝記刊行会『愛媛子どものための伝記 第8巻 船田ミサヲ 八木繁一 山路一遊』
愛媛県教育会 1984年
- ・愛媛県百科大事典編集委員会『愛媛県百科大事典』愛媛新聞社 1985年
- ・『えひめ 人 その風土』愛媛放送株式会社 1986年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・『発掘えひめの人-近代を拓いた101人-』愛媛新聞社 2002年

〈主な収蔵資料〉…(P201, 32~33)

〈ゆかりのある場所〉…(P273, 38)